

> 教祖科目群 (主な講義)

きょうそむねただしん ごじせき
教祖宗忠神の御事跡をもとに、本教の教義、教祖神の膝下^{しっか}に集った高弟達^{こうてい}や、教祖神の御自筆御書翰からなる黒住教教書をひもとして教理を学ぶ科目群です。



教主

くろずみむねみち
黒住宗道

教祖伝



名誉教主

くろずみむねはる
黒住宗晴

教義



大教殿司教

くろずみのぶあきら
黒住 信彰

御年譜



黒住教顧問

ふじわらとくゆき
藤原德行

高弟伝



教学局長

なが よ かずよし
長代和芳

教書教理

> 教団科目群 (主な講義)

教団の様々な活動や歴史、教団のルールである教法・教規^{きょうほう きょうき}とよばれる規則や、教団と社会とのつながりについて学ぶとともに、現場教会所のあり方についても深く学んでいきます。



教務総長

むろやまこういち
室山晃一

教団総論



公室長/布教部長

くろずみむねよし
黒住宗芳

教団活動



宗忠神社宮司

くろずみただちか
黒住忠親

社会活動史



教団総務

おがさわらしんや
小笠原真也

教団各論 I



教団総務

よしまつやすなり
吉松康成

教団各論 II

> 教師科目群 (主な講義)

黒住教教師として必要な知識・技術について学び、実技また試験を通して教会所実地において即戦力として役立つ能力や技能の習得につとめる科目群です。



学院長

ながつねあきひろ
長恒彰浩

祝詞学/書道



学生監

たなべあきのぶ
田邊明信

祭式/生活指導



奏楽寮楽長

お の もりたか
小野盛孝

吉備楽史



奏楽寮楽頭

お の あきもり
小野彰盛

吉備楽実技



大教殿勤番補

しんどう まり こ
進藤真理子

祭式祭事

祭式作法

礼とは、まことの心、敬いの心、
慎みの心のことです。
神様を拝む作法を学ぶことによっ
て、そのまま身を正し、心を正し
徳を養うことができます。



吉備楽

雅楽から生まれた「吉備楽」が、
本教の祭典楽として伝承されてい
ます。
黒住教の教楽「吉備楽」は必修の
科目となっています。

奉仕

奉仕は、自分の心を磨く修行
といってよいでしょう。
額に汗した者のみが知る喜び
こそ、人生の宝物なのです。



お祓い修行

祈りに徹するひととき。大御神様に抱かれ、大御神様に全身をなげうつように、下腹から
声をだして大 おお 祓 はら 詞 のことば を唱えます。大御神様を信じる修行、我を離れる修行ともいえます。

朝拝参拝



信心心得



御神詠拝戴



道の理拝書